

# 山口日独協会ニュース

## Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yamaguchi

### Nr. 140, Juni, 2019

山口日独協会 〒753-0083 山口市後河原94  
Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:  
Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN  
TEL/FAX : 083-920-2965  
<http://www.jdg-yamaguchi.jp/> メール: [info@jdg-yamaguchi.jp](mailto:info@jdg-yamaguchi.jp)

## 協会からのお知らせ

### 1 山口EU芸術祭(共催)のご案内

山口 EU 芸術祭は、EU 圏内の文化・芸術の紹介、交流を目的として開催します。山口国際交流芸術祭としては第 17 回となります。コンサートでのモーツァルト:レクイエムは、来年 7 月、オーケストラを編成し、全曲演奏の予定です。本格的な夏を前にした緑深い季節、平和の尊さ、素晴らしさを感じられるひとときをどうぞ。

#### \*Event 1. 「西洋音楽発祥の地山口～EU 特集コンサート」

- ・日 時 : 7 月 6 日 (土) 15:00～16:40
- ・場 所 : ニューメディアプラザ山口 (山口市熊野町 1-10 TEL083-921-1125)
- ・内 容 : <1 部> マリンバ&ピアノ名曲集

ヴィットーリオ・モンティ:チャールダッシュ、

アグスティン・ララ:グラナダ、ドビュッシ:月の光 ほか

マリンバ:貞國泰子 ピアノ:山城麻衣

<2 部> モーツァルト:レクイエム 抜粋

指揮:清水 宏之、ピアノ:守田諭代、山口 EU 芸術祭合唱団

- ・料金: 前売り～ 一般¥1,000 (大学生以下¥500) \*当日共に¥200 増

#### \*Event 2. フランス映画「天国でまた会おう」の上映

(2017 年//フランス語 (日本語字幕) /117 分)

- ・日 時 : 7 月 27 日 (土) 3 回上映、
- ・場 所 : 山口県教育会館
- ・内 容 : 共に生きた時間に、一生分の輝きがあった。

第一次大戦で死にかけて友情を育んだ 年の離れた二人

帰還後のパリで、国を相手に一儲けしようと企てた大胆な詐欺の本当の目的とは一!?

- ・料金: 前売り～ 一般¥1,500 (当日¥300 増)、当日～大学生¥1,000, 高校生以下¥800

<チラシを同封しています>

\*お問合せ・チケットは、上原理事長にご連絡下さい。

## 2 行事のご案内

### (1) 江崎萌子ピアノ演奏会

- ・日時 8月2日(金) 18時30分開演(18時開場)
- ・会場 ポルシェセンター山口ショールーム (山口市大内千坊六丁目 2-1)
- ・曲目 ショパン:バラード第4番、ラヴェル:亡き王女ノタメノパヴァーヌ ほか

<チラシを同封しています>

### (2) ドイツ語会話教室

①「はじめてのドイツ語」 講師：渡辺アンゲリカ先生 19時～20時30分です。

②「ドイツ語サロン」 講師：エムデ・アンゲリカ先生 19時～20時30分です。

・受講料：半期10回で、会員;8,000円・一般;10,000円

\*お問合せ:理事尾崎馨さん(080-1948-2390/ozaki-js@c-able.ne.jp)へお願いします。

## 3 行事のご報告

### (1) 「リンデンバーム・ピクニック」

5月19日(日)、山口市亀山公園山頂の菩提樹の下にてリンデンバーム・ピクニックを行いました。この菩提樹は、5年前日独交流150周年を記念し、友好のあかしとしてドイツ連邦共和国大使館より寄贈され、亀山公園に植樹したものです。当日は、どうにか雨も止み、お弁当と飲み物とお話を楽しみました。



## 3 会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 斉藤理さん投稿の「『小さな記念碑』を創る人々」を次ページ以下に掲載します。

### (2) 「リユーベックより室内楽のお届け 桑原陽子と仲間達 演奏会」

- ・日時 8月24日(水) 14時開演(13時30分開場)
- ・会場 ラポールゆや (長門市油谷新別名 TEL0837-33-0051)
- ・曲目 メンデルスゾーン:ピアノ三重奏・ヴァイオリンソナタ・チェロソナタ ほか
- ・演奏者 ピアノ:桑原陽子、ヴァイオリン:大塚百合菜、チェロ:リア チェン ペルロワ

<チラシを同封しています>

(3) 山口サビエル記念聖堂パイプオルガンメデイテーション

「おもいっきりバッハ～バッハに憧れた作曲家たち」

- ・日時 9月29日(日) 14時開演 <チラシを同封しています>

(4) 「変奏曲と歌曲の午後 2」

- ・日時 11月4日(月・祝) 14時開演
  - ・会場 クリエーティビ・スペース赤れんが
- <チラシを同封しています>

(5) 山口日仏協会パリ祭

- ① 「フランス革命と7月14日」 講師：竹中幸史氏（山口大学人文学部教授）  
7月14日(日)14時～15時30分、会場 山口大学人文学部1階小講義室
- ② 懇親会 7月14日(日)15時45分～17時45分、会場 山口大学第一学食ボーノ  
お問合せ：山口日仏協会；0835-22-5150(木原)、メール salut@camel.plala.or.jp

<各種お問合せは、上原理事長までご連絡ください>

## 「小さな記念碑」を創る人々

文：齊藤理

昨秋から今春にかけて、ベルリンに滞在する機会を得ました。留学以来、およそ20年ぶりの比較的長いドイツ滞在。しばらく暮らしてみると、なるほどこの20年間の変貌に気づくこと、日々数多ありましたが、街を歩いていて目に付く「路面にきらりと光る石」もその一つです。真鍮板が貼られた10cm四方の小石のことで、「つまづきの石(Stolpersteine)」と名付けられています。これらが、あちらの辻にもこちらの辻にも、ベルリンの至る処で見られるようになりました。

この不思議な石は、ベルリン生まれの芸術家ギュンター・デムニク(Guenter Demnig)が発案したもので、ナチス時代に犠牲となったユダヤ人らを記念するため、彼らの氏名、生没年、経歴などを刻印し、犠牲者がかつて暮らした住居前の舗道にひとつひとつ埋設していくという壮大なプロジェクトです。90年代後半から始まり、すでにベルリンだけでも総計7,691個(2018年11月時点)埋設されているほか、またたく間に拡大を続け、欧州各地の路上にのべ6万個も設置されているとのこと。今日、頻繁に見かけるようになったのも頷けます。

「つまづきの石」は、例えばスター建築家といわれるピーター・アイゼンマン設計のベルリン・ホロコースト記念碑や、ダニエル・リベスキント設計のユダヤ博物館など、その大胆な造形でセンセーショナルに世界の耳目を集める大規模モニュメントとは対照的です。いふならば私たちの日常風景にひっそりと分布する「小さな記念碑」ですが、「何万人が犠牲になった」といった抽象化されたデータからではなかなか伝わりにくい、個々の迫害の実情に具体的に迫ることができます。これら

に接すると、日常の何気ない街風景のなかにも、かつての残虐な記憶の断片が散りばめられている現実にハタと気づかされます。わずか 10cm の小石ながら、そこから発せられる「犠牲者を『日々』忘れてはならない」とのメッセージは、身近でリアルだからこそ強烈なのです。

先頃ベルリンであった、とある街路の「つまづきの石・敷設式(Stolpersteinverlegung)」にも参列してきました(2018年11月24日)。金色の石を実際に路面に埋設する催しです。

当日、予定時刻に会場へ向かうと、近隣住民や小学校の生徒たち 30 名ほどが集まり、バイオリンの演奏とともに追悼の言葉が厳かに読み上げられていました。かつてこの地に暮らしていたブルーメンタール夫妻のこと。妻は 1944 年に強制連行されアウシュヴィッツで亡くなったこと。夫はその 2 年前「ソビエトの楽園」に関わる暴動で殺されたこと等、犠牲者の詳細が重々しく語られ、参列者は 74 年あまり前にその場で起きた出来事に深く想いを馳せます。そこへ一台のワゴン車が静かに到着し、このプロジェクトの発案者であるデムニクが石とハンマーを両脇に抱えて現れ、じつに淡々と路面に埋設した後、ものの数分で次の現場へとスッと走り去っていきました。デムニクがなおも分刻みで駆け回らなければならないほど、悲しみの記憶が詰まった「つまづきの石」は欧州中に拡大を続けています。

どんなに目を背けたくなるような類のことであっても、かつての記憶に向き合って、きわめて仔細に記録し、さらには、まったく新しい手法による「記念碑」を創り出しているドイツの人々。この姿を目の当たりにしてつくづく思うのは、(少し大げさかもしれませんが)やはりドイツ社会には「アウフヘーベン(Aufheben)」の考えがすみずみまで行き渡っているということ。何をするにつけ、一度、立ち戻っては、ネガティブなテーマであってもまったく新しい視点から捉え直し、ものの見事に次のフェーズへと展開させていく手さばき。こればかりは、20 年前も今も変わらず本当に感心させられっぱなしですし、その技を習得すべく、ドイツ通いはこれからも続きそうです。

## <会費納入のお願い>

会費：法人；10,000 円、一般；2,000 円、家族；1,000 円、学生；1,000 円  
新年度の会費納入をまだの方お願いします。支払い方法は以下のとおりです。  
山口銀行の場合、皆さんの通帳から ATM を利用されると振込手数料は無料です。  
手数料節約のご協力をお願いします。

【会費納入方法】振込先：郵便局 口座番号；01550-9-26140 加入者名；山口日独協会  
：山口銀行県庁内支店 口座番号；6171166 加入者名；山口日独協会